

家計簿・暮らし調査研究会の出会いから

昭和の社会を研究した時、家計簿に関する記事をたくさん読みました。その中で「家計簿を見れば家族の物語がわかる」と報じていましたが、私も賛成です。また、女性目線での日本の変化もわかります。女性の声の力による「社会への潜在的影響」は大きいと思います。

本当に家計簿の文化と家計簿活動は素晴らしいです。

(米国・オレゴン大学院生

家計簿から見た日本の食生活を研究

Hillary Maxson)

初めての子育て中に出会った家計簿活動。日々の生活費記録だけでなく、税金から記入する第一歩から、家計簿は家計運営だけでなく、社会や未来につながるものだと皆さんの記録や寄せられた声からたくさん勉強させて頂きました。


(元研究会メンバー 小川 愛)

子どもたちが学校に上がり、外とのつながりを持ちたいと思った時に会った研究会の皆さんから、家計簿の事だけでなく、たくさんの事を学びました。楽しい思い出もたくさんできました。

(元研究会メンバー

久宗 咲子)

アメリカには無い「家計簿の文化」とその活動はスバラシイデス
モニターさん



家計簿・暮らし調査研究会メンバーから

夫の給与で家計簿をつけ始めて早17年。社会保障費や税金の額も毎月目にし、何より研究会に参加したことで、学校では教えて貰えない生活の知恵を沢山学びました。(朝見 千陽)

家計簿のおかげで、先行投資見返りなしの教育費地獄・年収が3分の1になる年金生活も乗り切っています。相変わらず数字には強くありませんが、「正しい年金世帯」をやっています。(鈴木 泰子)

家計簿活動に参加して22年間、多くの事を学び、いろいろな経験をし、たくさんの人達と出会う事ができました。22冊の家計簿には思い出がいっぱいで、私にとって大切な宝物になっています。(原 登美子)

家庭経済の中心にいた家計簿。集計して振り返り、実践してきた数々の節約。その大切さを伝えてくわった家計簿活動。昨年、NHKの高校講座に出演し、45年の家計の歴史を伝え、この活動の総まとめとなりました。(伊藤 さち子)



モニターさんあっての家計簿活動でしたので、とにかくモニターさんに感謝です。お陰でマスコミにも多く取り上げられ、社会に発信できました。個人的にはNHKの生涯の(?)思い出になりました。(旗谷 利実子)

家計簿の数字はまさに我が家の歴史そのものです。続けてきたからこそ、今の生活があると信じます。定例会で旬の経済について語り合った事、提出して下さったモニターさんの声、全て宝物になりました。感謝です。(鮫島 紀美江)

家計簿・暮らし調査研究会のメンバーになって早15年になります。たくさんの方との出会い・有益な知識を得る事ができました。家計簿をライプランのデータとして活用することも学びました。とても感謝です。(平野 澄子)

